

## 4. 情報とメディア（情報リテラシー）

### ～ネットショッピングと電子マネー～

#### 指導上の留意点

「第41回国民生活動向調査」（2013年実施）によると、インターネット（以下「ネット」という）での商品やサービスの購入経験者は国民の半数を超え、それに伴うトラブルも増加している。ネット取引においてトラブルにあう原因には、消費者側がネット上で知り合った人の信用性を確認することなく購入したり、言われるままに別サイトにアクセスしたりするなど、ネット上の情報を批判的に見て、その信用性を判断する（クリティカルシンキング）力が欠けていることが挙げられる。消費者側・事業者側双方の問題点を考えることによって、商品・サービスの種類や販売形態、アプローチ方法などが変化しても問題点に気づき、トラブルを未然に防ぐことができる能力を身に付けさせる。

#### 各問についてのポイントと解答例

- 1 教材⑧の①の事例1、2を読み、よくある事例から問題点と注意点を考え、今後利用する際の注意を促す。

	オンラインゲーム	ネット通販詐欺
解答例	<b>消費者の問題点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上で知らない人と接触し、その人を簡単に信用した</li> <li>・紹介されたサイトをよく確認していなかった</li> <li>・規約を読んでいない可能性がある など</li> </ul>	<b>消費者の問題点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトの評判を調べていなかった</li> <li>・安すぎることを不審に思わなかった</li> <li>・よく考えず、すぐにお金を振り込んだ</li> <li>・返品について確認していなかった など</li> </ul>
	<b>事業者の問題点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有料であることをわかりやすく表示していない可能性がある</li> <li>・当該ゲームサイトを紹介した人がサクラで、そのサイトが架空請求サイトの可能性がある</li> <li>・1日で8万円は高額すぎる など</li> </ul>	<b>事業者の問題点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニセモノを販売している</li> <li>・連絡先に電話番号や住所などの記載がない</li> <li>・受注したものを送っていない など</li> </ul>
	<b>利用する際の注意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料が有料かなど規約を確認する</li> <li>・ネット上で知らない人と接触しない</li> <li>・ネット上で知り合った人を簡単に信用しない</li> <li>・ID、パスワードを絶対に教えない</li> <li>・高額請求されたらサイトや事業者に連絡、支払いをしないで消費生活センターに相談する など</li> </ul>	<b>利用する際の注意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買う前にサイトが正規サイトかどうかや評判を確認する</li> <li>・安すぎる場合は注意する</li> <li>・支払い方法にクレジットカードが使えず、個人名義の口座の銀行振り込みしかない場合はやめておく</li> <li>・返品についての記載を確認する</li> <li>・商品未着、サイト事業者と連絡が取れない場合は消費生活センターに相談する など</li> </ul>

- 2 教材⑧の②の事例3、教材⑥の参考を読み、電子マネーの利用上のメリット・デメリットを考え、自分たちが使用するうえで注意すべき点を考える。

	メリット	デメリット
解答例	手持ちの現金不要、ほしいものをいつでもどこでも買える、財布がかさばらない など	いくら使ったかわからない、返金が困難、記名式ではないのでチャージした本人以外でも使える など

注意点：使った金額を把握する、ID・パスワードを適切に管理する など

- 3 消費者市民としてトラブルの未然防止・拡大防止のためにできることを考える。

#### 解答例

設問1の利用する際の注意点について自分が注意するだけでなく周囲の人にも注意を促す、被害にあっていないでも不審に思ったら消費生活センターに相談する など

用語：情報リテラシー、アカウント、ネット通販詐欺      参考用語：仮想通貨